

合同キャリア・サポートチーム「Genelink」発足

●背景

急速に高齢化が進行する日本社会において、他疾患が併存する患者を全人的に診療する総合診療医への需要はさらに高まっています。2014年に発足した日本専門医機構が、基本領域学会を持たない19番目の専門医として「総合診療」を掲げ、専攻医育成に取り組み始めて4年が経過しました。専門研修修了後の学会認定サブスペシャリティ専門医としては、現在のところ、日本病院総合診療医学会（JSHGM）の認定する病院総合診療専門医と、日本プライマリ・ケア連合学会（JPCA）の認定する新・家庭医療専門医が準備されています。しかし、その専攻医数は全国で各年約200～250名前後と、全専攻医全体の約2%に留まっており、不明瞭なキャリアパスや学術活動基盤への学生・研修医の不安を払拭することが必要とされています。

●合同キャリア・サポートチーム「Genelink」について

JSHGMとJPCAは総合診療医のキャリア形成に関して互いに連携・協働していくことで合意し、2021年7月に「総合診療専門医取得後のキャリアに関する2学会合同声明」を发出了。総合診療医の生涯学習と総合診療領域の学術・研究活動の発展において2学会が果たすべき役割は大きいと言及され、今後は両学会が緊密に連携しサブスペシャリティ領域の専門医制度の構築と発展のために協働していくとされています。

2021年11月には両学会の若手組織が協働し「シン・若手病院総合医カンファレンス 専門医取得後のキャリアパスを考えるシンポジウム」を開催し、初の共催企画が実現しました。

2022年3月に両学会理事である志水太郎先生（JSHGM）と石丸裕康先生（JPCA）のもと、学会の域を超えた若手医師で「合同キャリア・サポートチーム Genelink」が発足しました。



Genelink は、Generalist+link の造語であり、ジェネラリスト志向の仲間が増え、つながりが広がっていくことを意図しました。2022年3月よりオンラインで集まって議論を行い、1) 医学生・初期研修医に対する総合診療医の認知度向上、及び、2) 総合診療医を志す医学生～若手医師のキャリア支援、を当面のミッションとして活動することにしました。

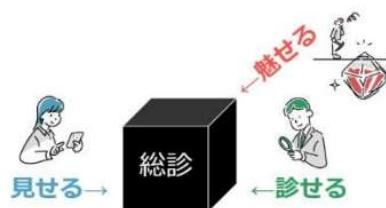
●第13回 JPCA 学術大会でのお披露目にて

2022年6月に開催された第13回 JPCA 学術大会でのジョイントシンポジウム「2学会合同で取り組む「新しいジェネラリスト広報戦略」とは」では、医学生から指導医まで幅広い方に参加していただき、様々な意見が交わされました。

「日本の医療で総合診療領域が最も必要になることは明白であり、資質的には将来のリーダーとしてふさわしいスキルが身に付けられることを宣伝する」、医学生からは、「より早期から地域の臨床を体験できる機会が欲しい」といった意見をうけ、「大学での卒前教育のカリキュラムへのアプローチ」、「研修プログラムやキャリアのロールモデルといった情報源を統合する」など、私たちの活動に賛同する意見が多くでました。

Genelink 広報戦略

『総診が“ミ”える』



イマの学生・研修医に

見せる 届きやすい媒体・手段

魅せる 響きやすい魅力

診せる 直接つながり、相談・キャリア支援

第13回 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 ジョイントプログラム7
2学会合同で取り組む「新しいジェネラリスト広報戦略」とは

●今後について

医学生・初期研修医に対する総合診療医の認知度向上、総合診療医を志す医学生～若手医師のキャリア支援をミッションに掲げ、チーム連携・交流、チームメディアに分かれ、情報共有しつつ活動していきます。同時に、総合診療の認知に関する世論調査も行っていきます。

総合診療領域の発展・魅力発信のため、それぞれの学会の枠を超えて、リンクを続けながら、活動していきたいと思えます。

第26回 日本病院総合診療医学会学術総会～総合診療、これからの診断学～

2023年2月18日(土) 19日(日) @ライトキューブ宇都宮

Day2 2月19日(日) 11:10-12:10 に「Genelink」によるセッションあり！！